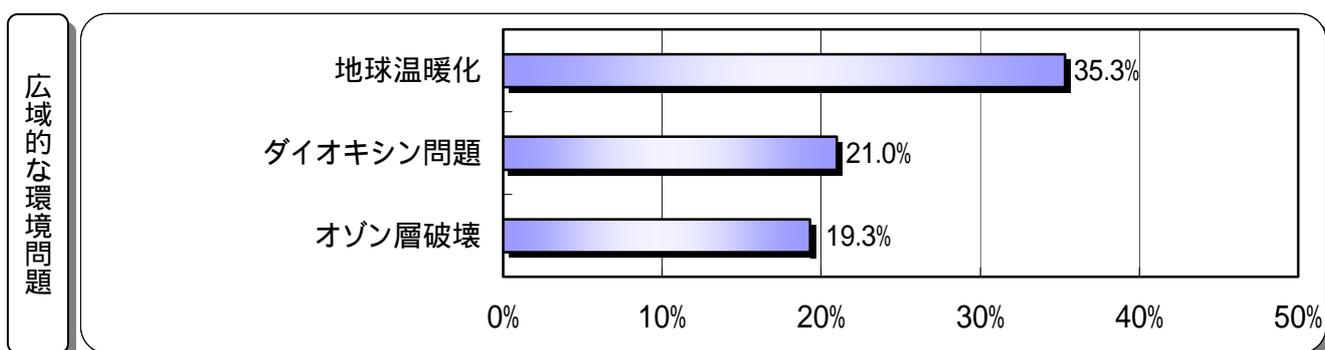
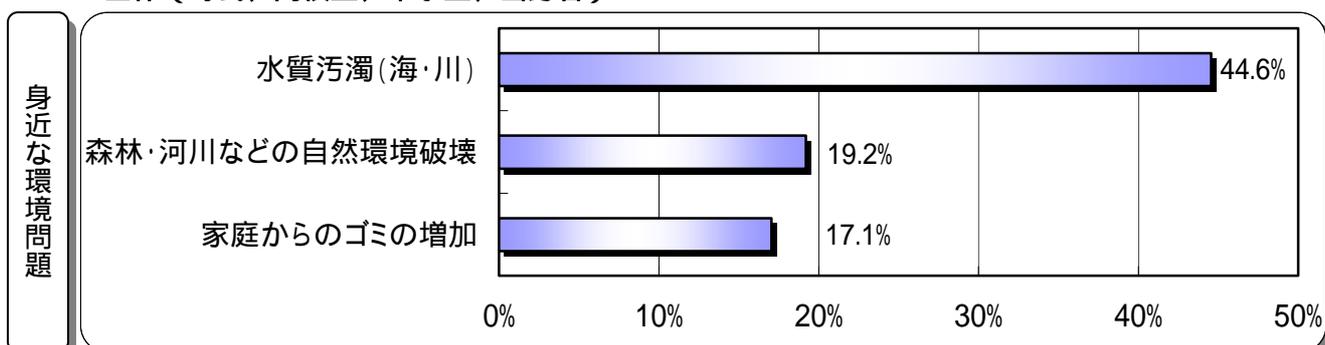


2 - 3 怖いと思う環境問題

設問 あなたが怖いと思う環境問題は、次のうちどれですか。(複数回答、3つ選択)

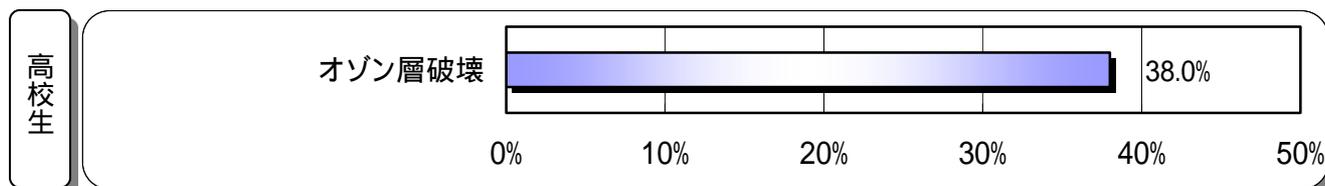
選択肢		
1. 水質汚濁(海・川)	2. 大気汚染	3. 地盤沈下や土壌汚染
4. 騒音・振動・悪臭などの公害	5. 家庭からのゴミの増加	6. 産業廃棄物処理問題
7. 森林・河川などの自然環境破壊	8. 動植物の減少	9. 水辺などの自然と触れ合う場の喪失
10. 地球温暖化	11. ダイオキシン問題	12. 環境ホルモン
13. オゾン層破壊	14. 酸性雨の被害	15. 資源やエネルギーの無駄使い
16. 身近な緑の減少	17. 歴史的・文化的まちなみの喪失	18. 下水道整備の不十分さ

< 全体(町民、高校生、中学生、出身者) >



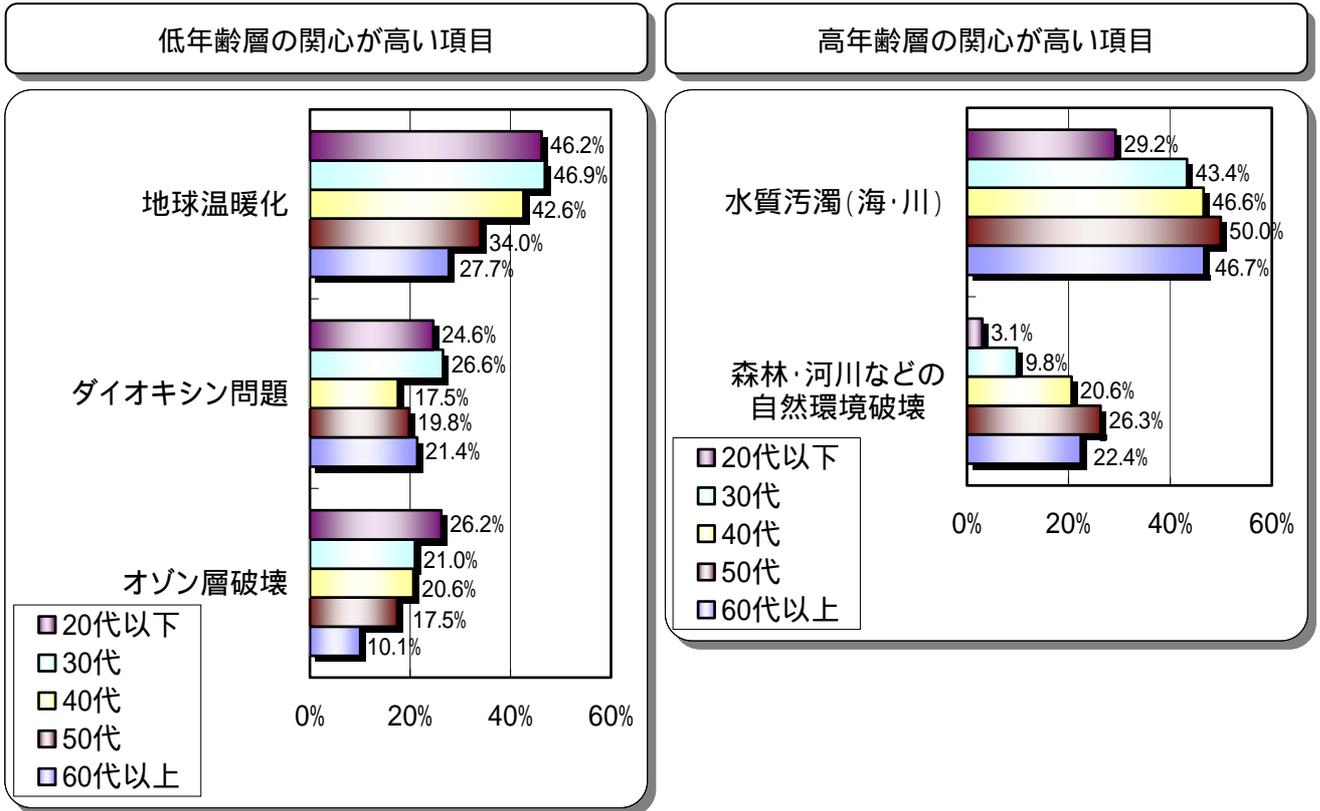
- ・ 身近な環境問題として認識されている項目は、「水質汚濁(海・川)」、「森林、河川などの自然環境破壊」、「家庭からのごみの増加」であった
- ・ 「水質汚濁(海・川)」の回答率が最も高く、「2 - 2 身近な環境について」において“水辺の環境”に対する不満が高いことと同様に、“水質の悪化”に対する不安が現れている
- ・ 広域的な環境問題として認識されている項目は「地球温暖化」、「ダイオキシン問題」、「オゾン層破壊」であった

< 回答者群による傾向の違い >



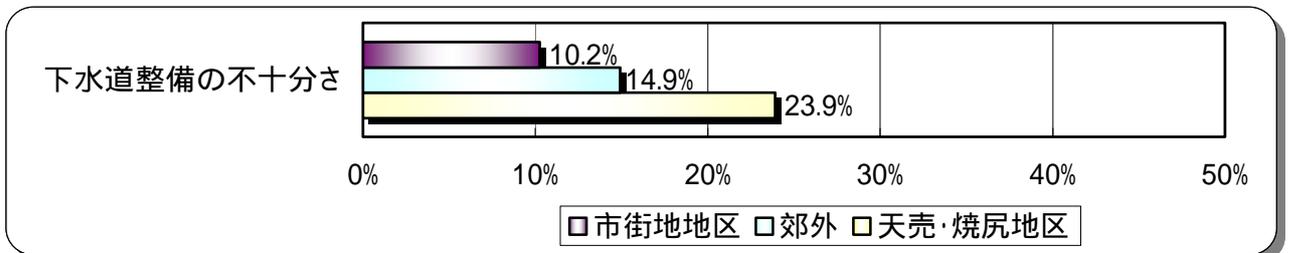
- ・ 高校生において、「オゾン層破壊」に対しての関心が高い

< 年齢別クロス集計 (町民) >



- ・ 「地球温暖化」「ダイオキシン問題」「オゾン層破壊」のような、比較的新しく、直接身近に感じられていない環境問題は低い年齢層における関心が高い
- ・ 「水質汚濁 (海・川)」「森林、河川などの自然破壊」のような、身近な環境問題は高い年齢層における関心が高い
- ・ 低年齢層では、長期的・広域的な環境問題が意識されているが、身近な環境問題に対する意識が比較的低い
- ・ 低年齢層に対して、家庭・学校における自然環境教育の実施や広報により美しい自然環境を紹介するなどの教育やPRを行い、身近な環境問題に対しても意識を高めていくことが必要である

< 地域別クロス集計 (町民) >



- ・ 「下水道整備の不十分さ」については、天売・焼尻地区の関心が高いものとなっており、現状に対する不満が認められる